

New Public Management

地方自治体の経営について考える

これからのまちの在り方
持続可能な地方自治体に必要な条件

- まちが存続するための要件を定義する
 - 財政的に自立を目指して財政運営をしている
 - 生産年齢人口が増加している
 - 住民と共有化されたビジョンがある
 - コミュニティが存在している
 - 近隣市町村との連携する体制が確立している

これからのまちの在り方
まちを持続させるための5つの方策

- まちを持続させるための方策
 - 価値の源泉の発掘と価値創出の機会のデザイン
 - まちのアイデンティティの醸成
 - オープンイノベーションの仕組みの構築
 - コミュニティ醸成の仕掛け・環境整備
 - キーパーソンの育成

ビジョンについて考える 魅力的なビジョンを描く必要がある

ビジョンとは ・将来構想、目指す姿、目標となるゴール

なぜまちにビジョンが必要か

・これからの地方自治体は海洋に漂う船と同じ

ビジョンの要件

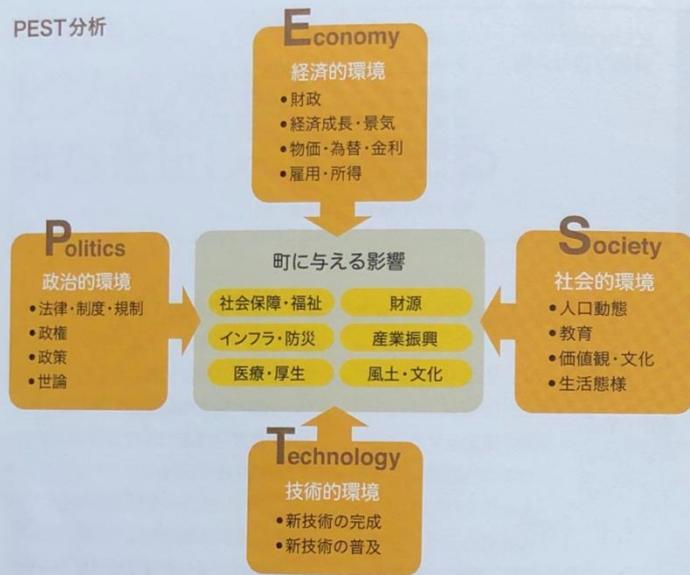
- ・人々にとって魅力的なものでなければならない
- ・具体的な情景が浮かぶビジュアルなものでなければならない
- ・実現までのストーリーが描けるものでなければならない

ビジョンについて考える ビジョンを描く前にまちを正しく認識する

ビジョンの構築プロセス

- ①PEST分析とSWOT分析で弱みと強みを整理する
- ②完成系のイメージ図を描く
- ③要件定義
- ④現状から予想される未来とのギャップを認識する
- ⑤課題の整理と共有化
- ⑥ソリューションの検討
- ⑦アクションのプロット化

PEST分析



SWOT分析の例

		外部環境	
		機会(プラス要因)	脅威(マイナス要因)
価値源泉・内部環境	強み	<ul style="list-style-type: none"> 有機野菜農家の増加 良質な漁場 	<ul style="list-style-type: none"> 食の安全、オーガニック志向 6次化の推進 IT技術の発展
	弱み	<ul style="list-style-type: none"> 若者の減少 ITリテラシーの弱体化 	<ul style="list-style-type: none"> 円高による低価格の輸入品の増加 石油エネルギーの高騰

- A: 強みにより機会を最大限活用するために取り組むべき課題は何か
- B: 強みにより脅威に打ち勝つために取り組むべき課題は何か
- C: 弱みを補うべく機会を利用するために取り組むべき課題は何か
- D: 弱みと脅威により起こり得る最悪の事態を回避するために取り組むべきことは何か